

令和8年度 福祉従事者研修

オンライン開催

支援につなげる記録の書き方研修

目的

福祉職における記録の正しい目的や意義の意味を理解し、より「支援につなげる」書き方のポイントを習得することにより、施設・事業所や自身をめぐる様々なりスクを防ぐとともに、読み手に“伝わる”記録の書き方を学びます。

効果

記録の本質を分かりやすく丁寧に説明されますので、目標・事象に対する記録の関連性、重要性について再確認でき、施設・事業所の記録の見直しができます。

日時

令和8年 9月24日(木) 10時00分～16時00分

会場

「Zoom」を使ったオンライン開催

受講対象
・定員

新任職員から管理職員まで全階層の職員
60名程度(オンライン受講者のみ)

受講料

佐賀県社協会員:8,000円 (非会員:13,000円)※非課税対象

申込締切

令和8年 9月9日(水) 午後12時00分

※定員に達した場合は早期に申込みを締切場合があります。

※研修実施可能人数(20名)を満たさない場合は開催を見送る場合があります。

※オンライン受講希望する方は、申し込み時にメールアドレスの記載をお願いします。

プログラム

時間	研修内容
9:30～	受付
9:55～10:00	オリエンテーション
10:00～12:00	講義・演習 ◆ 相談援助職、介護職に求められる記録 ・「記録」は誰のために書くのか?…意義・目的 ・「観察」から「サービス提供」へ…歴史の変遷? ・倫理的責任と法的義務、記録の役割
12:00～13:00 (昼食・休憩)	◆ 記録に必要な要素 ・情報を記録してみよう ・情報を可視化する
13:00～16:00	◆ 支援につなげる記録作成の実践 ・記録のフォーマット…SOAP、POR、DAPとは ・フォーマットを活用して記録してみよう…記録と思考の整理 ・適切な表現を知る～支援利用者の“不快・誤解”を招かないために～ ◆ 振り返り

※研修内容は一部変更される場合があります。

講師

溝部 一夫(みぞべ かずお) 氏

ウェルウェイブ代表(福岡市)

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程指導者

障がい者支援施設や特別養護老人ホーム等の現場で介護職としての勤務経験を経て、福岡介護福祉専門学校の専任教員として教壇に立ち指導した経験を持つ。その後、福岡県シルバー人材センター連合会に入職し、業務課長等を歴任。現在は、これまでの豊富な経験を活かし、介護支援専門員や介護福祉士の受験対策講座、ホームヘルパー養成研修の講師、その他権利擁護に関する研修講師など幅広く活躍している。

受講者の
声

『記録の書き方でどのような書き方をしてよいのかわからない事などを今回の研修で学ぶことができて良かった。』